

## 令和2年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録

日 時 : 令和2年 6月29日 (月)

午前10時30分～午前12時00分

場 所 : ソネビル6階 講習会室

事務局

本日はご出席いただき、ありがとうございます。

審議会の開催に先立ちまして、第21期帯広市公営企業経営審議会委員の皆様を紹介させていただきます。

委嘱状につきましては、既に郵送にて交付を行っておりますので、ご紹介のみさせていただきます。なお、任期は令和4年2月21日までとなっております。

それでは、五十音順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立願います。

一般公募代表、池添 博彦様。帯広ガス株式会社、石田 弘樹様。

帯広市川西農業協同組合、石山 隆幸様。帯広商工会議所、小沢 昌博様。

一般公募代表、川野 貴子様。帯広畜産大学、耕野 拓一様。

帯広友の会、柴崎 浩子様。北海道社会事業協会帯広病院、杉林 光則様。

帯広市家庭教育学級、高山 なぎさ様。帯広市PTA連合会、谷保 寿彦様。

北海道電力ネットワーク株式会社、土田 拓様。

北海道税理士会帯広支部、干場 慎也様。北洋銀行帯広中央支店、増田 仁志様。

連合北海道帯広地区連合会、水谷 豊様。

皆様どうぞよろしくお願いたします。

以上で委員の紹介を終了させていただきます。

なお、帯広消費者協会、櫻井 智恵様につきましては、ご都合により欠席されています。

続きまして、本日出席の上下水道部職員の紹介をさせていただきます。

事務局

上下水道部長の倉口でございます。どうぞよろしくお願いたします。

帯広市公営企業は、現在、中野管理者の下、1部2室4課82名の職員で経営しております。

それでは、出席職員を紹介いたします。

上下水道部経営室長の木下です。上下水道部技術室長の大島です。

総務課長補佐の枝松です。総務課主任の真屋です。

総務課主任補の小笠原です。総務課係員の葛西です。

料金課長の森田です。料金課長補佐の徳安です。水道課場長の馬淵です。

下水道課長の秋田です。下水道課場長の境です。  
事務局を担当しております、総務課主任の遠藤です。総務課係員の小関です。  
以上よろしく願いいたします。

事務局

それでは、ただいまより令和2年第1回経営審議会を開催いたします。  
帯広市公営企業経営審議会規程第3条第2項の規定に基づき、委員15名のうち14名が出席していますので、本日の審議会は成立いたします。  
初めに、中野管理者よりご挨拶申し上げます。

管理者

皆様おはようございます。  
本日は、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。  
帯広市公営企業管理者の中野です。前任の阿部が3月末で4年間の任期満了となりましたので、4月1日付けて就任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。  
この審議会は、水道事業及び下水道事業の運営について議論していただく場として、例年であれば2月に開催するところ、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で今日まで開催を延期して、委嘱状についても郵送させていただきました。本来であればお一人ずつお渡ししてお願いしなければならないところですが、状況に鑑みてお許しいただきたいと思っております。  
さて、水道・下水道は、市民生活や経済活動に欠くことのできない重要なライフラインでありますことから、常に安心できる水を安定して、かつ安価にお届けすることが重要であり、正に公営企業としての使命であると考えています。  
振り返りますと、今から約70年前の昭和26年に初めて上水道事業整備に着手して以来、人口増加や都心発展に伴い4度に渡る拡張事業を行って今日に至っております。この間、札内川の濁水事故をきっかけに稲田浄水場を整備し、また、将来的な水不足に対応するため周辺6町村と共同で十勝中部広域水道企業団を設立し、札内川ダムからの用水供給事業も行ってきており、今日の安定した上下水道事業の運営に至るまでには多くの諸先輩方のご苦勞があったことと察します。  
そうした歴史の上に立って、新たな課題に的確に対処し、本日ご説明させていただく上下水道ビジョンの目標でもある安全で強靱な上下水道を次世代に繋いでいくことが私たちの役割であり、事業運営を預かる者として責任の重さをひしひしと感じています。

昨年は、元号改正や消費税増税などにより市民生活にも変化がありましたが、今年に入り新型コロナウイルス感染症が拡大し、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。上下水道についても、市議会で市民負担軽減のため減免すべきところのご意見をいただいたところであり、現に減免している都市もありますが、本市としては、公営企業会計としての特性や事業の安定運営の面から減免は困難であると考えており、

利用者個々の事情をしっかりと聴きながら、引き続き納付相談等に丁寧に対応していくこととしております。当面は新しい生活様式や新北海道スタイルによる生活が続くことと思いますが、一日も早い終息を願っています。

本日は、遅くなりましたが今年度予算の概要並びに昨年度当審議会から答申をいただいて本年3月に策定したおびひろ上下水道ビジョンについてご報告させていただきます。また、4月から農村部の簡易水道、下水道につきましても私ども公営企業で一元管理をすることになりましたので、こちらも併せてご意見をいただければと思います。

このほか、今年度の予定としては、現在、ビジョンの収支見通しを踏まえて、上下水道料金体系の検証作業を進めているところであります。後ほどご説明させていただきますが、一定の整理ができましたら、8月を目途に当審議会に諮問させていただいて、ご意見をいただきたいと考えております。

以上、多々申し上げましたが、皆様から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 今回は改選期でありますので、本審議会の会長、副会長の選任をさせていただきます。

帯広市公営企業経営審議会規程第2条第2項の規定に基づき、会長、副会長を委員の互選により定めることとなっております。

会長が選任されるまでの間、事務局で進行させていただきますので、ご了承いただきます。選任の方法はどのようにしたらよろしいでしょうか。

委員 よろしければ、私から推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 ただいま委員からご意見がありましたが、他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

各委員 なし。

事務局 それではご推薦をいただきたいと思います。委員お願いいたします。

委員 会長には、在任期間が一番長く審議会への理解が深い耕野委員を、副会長には、在任2期目の石山委員を推薦いたします。

事務局 ただいまの推薦に対し、皆様ご異議ありませんか。

各委員

なし。

事務局

それでは、会長は耕野委員、副会長は石山委員に決定させていただきます。  
恐れ入りますが、会長席、副会長席にお着きの上、就任のご挨拶をお願いします。

会長

帯広畜産大学の耕野と申します。会長ということで、お引き受けすることになりました。

大学では農業経済学について教育研究をしており、先週、2015年に国連が定めた持続的開発目標、それについて講義する機会がありました。

開発目標が17あるのですが、このうち安全な水の供給・持続的なまちづくり、少なくとも二点においてこの審議会、また帯広市の上下水道事業は寄与するのではないかと考えています。

大学の講義と違い、このような会議を取り仕切るのは非常に不慣れですけれども皆様のご協力により、実りある審議にしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございました。続きまして、副会長をお願いします。

副会長

帯広市川西農業協同組合の石山です、どうぞよろしくお願いします。

管理者の話にもありましたけれども、水の事業とは、わたくしも最も重要なライフラインのひとつだと認識しております。

専門的知識は全く持ち合わせていませんが精一杯努めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。それでは、審議へ入りたいと思います。

当審議会規程に基づき、会長に議事進行をお願いします。

会長

それでは、本日の議題1について事務局より説明をお願いします。

事務局

資料1「令和2年度 上下水道部 主な取り組み概要」について、ご説明いたします。  
令和2年度は、大きな節目の年となっており、大きく3つの「スタート」という視点で、整理しております。

1点目は、第七期帯広市総合計画と、総合計画の分野計画となりますおびひろ上下水道ビジョンがスタートします。

後ほど、上下水道ビジョンと総合計画について、別資料に基づいて、説明させてい

ただきますが、総合計画につきましては、帯広市の最上位の計画として位置づけられており、将来のまちの姿やまちづくりの目標をはじめ市が取り組む各分野の施策などが示されております。

総合計画では、全部で23の施策が示されておりますが、そのうちの1つとして、施策20に「未来につなぐ おいしい水 - 上下水道の基盤強化 -」が示されております。

また、総合計画における各分野の施策を効率的に推進するため、総合計画に即して、分野ごとの計画が策定されており、上下水道分野では、おびひろ上下水道ビジョンを策定したところであります。

この上下水道ビジョンにつきましては、昨年、本審議会に諮問させていただき、委員の皆様からいただいたご意見などを反映させながら、策定したところであります。

上下水道ビジョンでは、上下水道の基盤強化のため、市民に信頼される公営企業として、安全で安心できる上下水道を維持管理し、次世代につないでいくために、基本理念を「未来につなぐ 信頼される 上下水道」としたところであります。

令和2年度からは、これらの計画がスタートすることとなるため、予算編成では、ビジョンの目指すべき方向、安全・強靱・持続というキーワードで重点を設定し、総合計画とも整合性を図りながら、予算編成をすすめてきたところであります。

具体的な令和2年度の予算につきましては、後ほどご説明させていただきます。

2点目は、農村上下水道の一元管理がスタートいたします。

上下水道部では、これまで、市街地を中心に水道・下水道事業を担ってまいりましたが、令和2年度より、農村部の簡易水道事業と農村下水道事業を引き継ぐことで、水道事業では区域面積が約4倍になり、これまでに整備してきた管や施設の維持管理が必要になるほか、今後も新たな施設整備や更新も必要となってまいります。

そのため、職員体制についても、農政部より上下水道部へ5名引継ぎ、77名から82名体制とし、これまでと同様に、安全で安心できる上下水道を維持するとともに、今後も効率的な運営を目指してまいります。

3点目は、料金体系の検証のスタートであります。

新たな上下水道ビジョンでは、現状・課題としまして、人口減少に伴う給水収益の減少、施設、設備の老朽化に伴う更新費用の増大、近年多発する地震や水害に伴い、災害対策の強化など、限られる収益の中で基盤強化に向けた様々な取り組みが必要となってきております。

一方、今後の見通しとしましては、企業団の元利償還金の減少や、昨年、企業団の負担割合が見直されたことに伴い企業団の受水費が軽減されること、また、帯広川下水終末処理場の汚水処理を十勝川浄化センターへ移管することなどにより、今後の収支見通しでは内部留保資金が増加傾向となります。

また、本経営審議会や議会の所管委員会においても、道内主要都市の中で水道料金

が一番高いなどの指摘もあり、ビジョンの中では、収支状況を慎重に見極めながら検証を進めるとしております。

そのため、改めて検証時期について検討した結果、懸案となっていた企業団の負担割合の見直しが決着し、今後の受水費の軽減に繋がり、内部留保資金も更に増加する見込みでありますことから、令和2年度より、料金体系の検証作業に着手することとしたところであります。資料1の説明は以上です。

続きまして、資料2「令和2年度 水道・下水道事業会計の予算」について、ご説明いたします。

資料の上段中央にありますように、企業会計、上下水道事業会計の歳出の予算規模につきましては、簡易水道、農村下水道事業を含めまして144億7,000万円となり、前年予算との対比では、上下水道事業ともに建設改良費が減少しているため3.5%の減となっております。

資料左側、水道事業会計につきましては、簡易水道事業を含めた収入合計は約55億3,000万円、支出合計は約69億3,100万円となっております。

前年度予算との対比では、水道事業で、中島橋での配水管整備事業や稲田浄水場電気計装更新工事などの大規模な工事が終了したことなどにより14%の減となっております。

左側下段の表になりますが、水道事業の純利益は、受水費の減少などにより、前年比45.7%増の約5億9,800万円となる一方、簡易水道事業では約5,900万円の純損失となり、水道事業会計の合計では約5億3,900万円の純利益になる見込みであります。

また、年度末の累積資金残高につきましては、水道事業では6.9%増の約18億9,800万円となり、簡易水道事業との合計では約19億1,400万円となる見込みであります。

次に、資料右側、下水道事業会計につきましては、農村下水道事業を含めた収入合計は約62億4,500万円、支出合計は約75億3,900万円となっております。

前年度予算との対比では、下水道事業で、管渠建設費や企業債の元利償還金の減少などにより2.3%の減となっております。

右側下段の表になりますが、下水道事業の純利益は、企業債利息の減少などにより、前年対比15%増の約6億1,600万円、農村下水道事業では約600万円の純利益となり、下水道事業会計の合計では約6億2,200万円の純利益になる見込みであります。

また、年度末の累積資金残高につきましては、下水道事業では5.6%増の9億6,100万円となる見込みであります。

なお、農村水道事業は、収支不足分を一般会計から繰入れしていただくこととしておりますので、累積資金残高は0円となる見込みです。

水道・下水道事業会計ともに、一定程度の純利益と累積資金残高を確保し、健全経営を維持できるものと考えております。

事務局

資料 2 の説明は以上でございます。

資料 3 「予算編成における重点」の水道事業について説明させていただきます。

(1) 安全安心な施設の保全についてですが、水道事業では、稲田浄水場の機器更新といたしまして沈殿池設備等の機械更新を行います。

この施設は昭和 56 年浄水場稼働以来、初めての機器更新となります。

更新する機械は、沈殿池に薬品を混入し攪拌するフロキュレーターと原水に含まれる土や砂などの沈殿を早める傾斜板、沈殿した土砂を排出するための掻き寄せ機の更新になります。

また、本年度より一元管理いたします簡易水道では、写真にありますように、水道水の圧力を下げる減圧弁 3 基の更新、川西浄水場企業団受水切り替えのための実施設計を行います。

(2) 強靱な上下水道づくりについて、配水管整備事業といたしまして、老朽化した塩化ビニール管の更新を行う管路近代化事業で 6,010m、道路工事・下水道工事等により維持管理上支障となる配水管の更新や移設などを行う 8 次整備では 1,320m、合計 7,330m を予定しております。

配水池などの耐震化では、中島配水場などの耐震診断を予定しております。

このほか、災害対策の備蓄資材を充足いたします。

これまでの災害対策は、主に地震災害を想定していましたが、近年、全国で多発するゲリラ豪雨や台風などに対し、本市においても水害対策を強化するため、大型水のう 4 組などの購入を予定しております。この水のうは、稲田浄水場の管理棟、水質センサー入口に設置し、台風等施設が冠水した場合に使用します。

従来の土嚢に比べ設置方法が容易で且つスピーディーに設置でき、災害発生時少人数で迅速な対応が可能となります。また、稲田浄水場の旧発電機室を災害用備蓄庫とし整備するための実施設計を行います。

(3) 持続的な経営確保につきましては、先ほど説明させていただきました、料金体系の見直しをはじめ、水道事業では、水道法で定められております残留塩素測定につきまして自動化するための機器を設置いたします。

現在は、地域の方に委託し毎日検査を行っておりますが、依頼を受けていただける方が年々減少し、委託先の確保が課題となっていました。今後、令和 4 年までに 4 か所の設置を予定しております。また、技術・事務改善に向けた研修では、包括委託や納付の利便性向上など、先進自治体等への実地調査を予定しております。

一番下段の工事請負費ですが、上下水道の一元化により事業は増えますが、稲田浄水場の電気設備更新工事など大型工事が終了したことなどから、事業費が減額となっております。

また、ゼロ市債につきましても、前年比 50.9%減となっておりますが、道道中島

通りの橋架け替えによります水道管工事を前年は実施していたことによるものです。昨年度の中島通り関連工事を除くと、例年同様の事業費となります。説明は以上でございます。

事務局

資料3「予算編成における重点」の下水道事業について説明させていただきます。

(1) 安全安心な施設の保全についてですが、生活排水を集める役割を持つ汚水管の整備や、耐用年数50年を経過した下水道管などの更新を行うほか、帯広川下水終末処理場の改修として、帯広市における各家庭から流された生活排水などについては、現在2つの処理場で処理しております。このうち、帯広川下水終末処理場の汚水処理機能を将来的に十勝川浄化センターに一元化する予定であります。このための事前改修として、帯広川下水終末処理場内の配管工事等を行います。

また、農村下水道につきましては、主に農村地区における各家庭の汚水を処理する個別排水処理施設を18基整備する予定でございます。

事業費につきましては、これらすべてを含め、2億9,900万1,000円となっております。

(2) 「強靱な上下水道づくり」についてですが、降った雨水を処理する雨水管の整備のほか、災害対策資器材として、下水道管の内部状況を確認できる管内検査カメラの導入を予定しております。

事業費につきましては、これらすべてを含め、4億1,200万円となっております。説明は以上でございます。

会長

議題1について、質問のある方はお願いします。

委員

資料1の「企業団」と、資料3の「ゼロ市」の言葉の意味を伺いたい。

事務局

「企業団」につきましては、1市4町2村が出資を行い水道水供給のための組織であり、帯広市の水の供給のうち、世帯の約半分を稲田浄水場で賄っていますが、残りはこの企業団から水を買っています。

帯広市の企業団における負担割合については、今後減っていく見込みです。

「ゼロ市」については、市役所用語であり、通常であれば令和2年度の予算を用いて令和2年度に事業を進めますが、令和2年度の予算を用いて前年度の令和元年度にすでに事業を進めていくことを意味しています。

委員

農村上下水道が一元管理されるということだが、簡易水道事業・農村下水道事業と言いが分かれているのは、仕組みや料金体系が異なるからであるのか伺いたい。

- 事務局 上水道については、給水人口が5,000人以下は簡易水道事業、それ以上は上水道事業となり、一元管理後も農村地区の給水人口が5,000人以下のため分かれています。料金体系については、どちらも一律です。
- 下水道については、市街地と郊外農村地区で分かれており、農村地区では小さな処理場のような個別の浄化槽を各家庭で設けています。
- 委員 上水道の配水管について、帯広市では铸铁管や塩化ビニール管とのことだが、耐用年数はどの程度であるのか。また、漏水についてはどの程度発生しているのか。
- 事務局 耐用年数については、铸铁管は国で40年と定められていますが、土質をとって計算すると80年使用できることがわかったので、80年での交換を行い、塩化ビニール管については40年であり、耐用年数に近づいてきたら漏水が増えるため、帯広市では重点的に耐用年数が近づいたものを更新しています。
- 平成30年度の漏水の件数は、铸铁管が0件、塩化ビニール管が8件となっており、現在の漏水のほとんどは塩化ビニール管です。
- 委員 漏水件数について、給水管は5年間で41件、止水栓65件、メーター34件などとなっており、多いように感じるがこれはどういうことか。
- 事務局 止水栓は家を建てる時に個人でつけてもらうものであり、メーターについては8年間で更新を行っていて、更新時に漏水が増えてきたものなどはその時に取り換えています。
- 止水栓はひねったりするため、どうしても弱くなりやすく、給水管については発見までに時間がかかってしまいます。
- 委員 年報の33ページの水道料金の収納率について、平成30年度は93.3%で過年度を加えると83.7%となり未収納が多いように感じるがどうなっているのか。
- 事務局 現年度分の数字については、各年度の3月31日時点の収納率であり、この時点では納付期限がまだのものがあるためこのような数字になっており、平成31年の5月末時点では、98.28%となっています。
- 過年度分については、納付が遅れている方や、滞納している方がいるため、このようになっていますが、1年経てば99%以上の収納率となります。
- 委員 クリプトスポリジウムについて、これは日本全体でも年に何件か発生していて、道内でも発生したとの情報を得ているが、これについての帯広市の対策はどのような

っているのか。

事務局

クリプトスポリジウムは濁った水に発生することが多いので、毎日必ず濁度検査を行っており、帯広市の濁度は0.1度以下となっていますので、この濁度では発生していないと言えます。

クリプトスポリジウムの検査も毎月1度行っており、帯広市で最後に発生したのは10年以上前です。

会長

他になければ、議題2について事務局より説明をお願いします。

事務局

上下水道ビジョンの概要について、ご説明いたします。

ビジョンは全7章で構成されています。

第1章「策定の趣旨と位置づけ」は、今後の人口減少・水需要の低下に伴う料金収入の減少や、老朽化施設の増加のほか、災害対策などの課題に対処するため、上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針として、現行ビジョンの終了に合わせ策定すること、国の上下水道ビジョンなどを踏まえ「第七期帯広市総合計画」に即して策定すること、計画期間は令和2年度からの10年間とし、ビジョンに大きな影響が生じた場合には、必要に応じて検討の見直しをすることとしております。

第2章「上下水道事業の概要」では、4部構成で、1沿革、2施設の概要、3料金・使用料体系、4組織についてとなっており、都市部とともに、今年度から事業を一元管理しております農村部の上下水道も記載しております。

第3章「上下水道事業の現状と課題」は、5部構成でまとめ、1水需要の低下、2施設の老朽化、3災害対策、4人材育成と技術の継承、5財政状況のほか、それぞれの課題に対する必要な取り組みなどを記載しています。

第4章「基本理念・目指すべき方向・目標設定」については、課題に対処し、市民に信頼される公営企業として、上下水道の機能を次世代に引き継いでいくため、ビジョンの基本理念を「未来につなぐ 信頼される 上下水道」とし、3つの視点、安全・強靱・持続という目指すべき方向を定めました。

また、基本理念の具現化を評価するため、水道管路の耐震適合率及び雨水整備率の指標を定め、目標値を記載しています。

第5章「施策の概要」では、基本理念に基づいた7つの基本方針を、1水道水源の保全、2施設の機能保全、3災害対策の強化、4環境負荷の軽減、5利用者サービスの向上、6組織力の向上、7財政基盤の強化とし、それぞれに関係する17の実施策を結び付け、取り組む概要について整理しました。

主だったところでは、実施施策3で、帯広川下水終末処理場の汚水処理を十勝川浄化センターに統合する事業を計画するほか、基本方針3では、施設の耐震化や浸水対

策など、今まで以上に災害対策を強化することとしています。

また、実施施策 13 では、利用者負担の軽減として、当審議会や委員会等から、上下水道料金・使用料体系に対するご意見をいただいております。今後の収支見通しを慎重に見定めながら検証いたします。

第 6 章「収支計画」では、水道事業、下水道事業、簡易水道事業、農村下水道事業の、今後 10 年間の収入、投資、収支見通しを示しています。

水道・下水道事業では、毎年 4～7 億円の純利益を見込み、企業債残高が減少し、10 年後の累積資金残高は約 30 億円以上となる見込みであり、農村上下水道事業では、収支不足額を一般会計から繰り入れるため、累積資金残高は 0 円となる見込みです。

第 7 章「フォローアップ」では、PDCA サイクルを活用し、毎年度、目標や施策の実施状況を検証・点検しながら、実施手法の改善や見直しなどに反映していくことを記載しています。説明は以上です。

会長 質問が無ければ、議題 3 について事務局より説明をお願いします。

事務局 今後の審議会の日程を簡単に説明させていただきますので資料 7 をご覧ください。通常の日程につきましては、2 月下旬に新年度予算の案について審議していただき、9 月の月上旬に前年度の決算状況について審議していただき、年 2 回行います。今年度につきましては、年 2 回に加え、料金・使用料体系の検証のための審議会を 8 月上旬から 9 月上旬の間に 3～4 回予定しております。詳細な日程につきましては、スケジュールの調整ができ次第、委員の皆様にお知らせいたします。

会長 質問が無ければ、事務局より議題 4 について説明をお願いします。

事務局 それでは、事務局よりマンホールカードの取り組みについてご説明させていただきます。資料 8 をご覧ください。マンホールカードにつきましては、下水道の役割や理解を深めてもらうために、日本下水道協会が事務局となる広報活動団体が、全国共通の規格でカード型の広報ツールとして作成したものです。このカードを通して、帯広市に関心を持っていただき、足を運んでもらうことで、観光 PR にもつながる目的があります。マンホールカードの配布状況でございますが、昨年 12 月 14 日から、帯広駅 2 階のとかち観光情報センターで配布を開始し、初日は道内外から 180 人を超える方々にお越しいただきました。

一時新型コロナウイルス感染症拡大防止により配布を中止しておりましたが、現在は配布を再開し、これまで半年間で、約1,800枚の配布状況となっています。

配布時に簡単なアンケートをお願いしており、集計状況が資料の下段になります。

今まで配布した方の年代では、4・50代が4割以上を占め、地域別では、帯広市民が4割、管内と道内で5割、道外が1割となっております。

市外の方が帯広にいらした理由では、マンホールカードをもらうための4割、観光目的が3割など、マンホールカード配布により、帯広市へ足を運んでくれる方が増えているものと思われます。

ご意見やご感想の中には、楽しく素敵な企画であるとか、帯広は広くて気持ちいい街、また来たいなど、この企画や帯広市への様々な感想をいただいております。

市内に設置しているカラーマンホールの蓋にも興味を持っていただき、全種類を見たいと足を運んでいる方もいらっしゃいました。

今後は、新型コロナウイルス感染症対策で求められていた、移動自粛も緩和され、帯広市を訪れる観光客も少しずつ増えていくものと思われることから、配布枚数も徐々に増加していくのではないかと考えております。

マンホールカードの取り組みにつきましては、以上でございます。

会長

全体を通して質問のある方はお願いします。

委員

カラーマンホールについて、中国・台湾・韓国などからの観光客が多いので、様々な国の言語のものやアイヌ語のものがあつたりしたらより興味を持ってもらえていいのではないかと。

事務局

規制等もあるため、いろいろな言葉や表現を入れるのが難しい部分もあるが、今後の取り組みにおいて工夫が必要であると感じているので、参考にさせていただきたいと思っております。

委員

ビジョンや総合計画を見ると、人口減少や空き家の問題、有収率の減少などがあるが、帯広の水のすばらしさをしっかりと市民にアピールをし、料金の回収につなげ、それを安全な水道水の維持・水道管の取り換え・料金の値下げなどに取り組んでほしい。

事務局

安心安全な水を確実に提供していくことが一番重要であると考え、そのためにはどのような費用が発生するのか、また、災害対策をどのようにしていくかなどを考慮しつつ料金体系の検証を行っていきたいと思っております。

- 委員 極上水の中に含まれているミネラルが、美味しい水と言われている基準に比べるとかなり少ないように思う。
- 事務局 極上水は帯広市の水道水のおいしさをPRするためにボトルドウォーターにしたものであるので、成分をいじったりすることは難しいことをご理解いただきたい。
- 委員 マンホールカードの右下にある4つのマークと数字の意味を教えてください。
- 事務局 これは全国共通のピクトグラムというもので、それぞれ左から花・木・鳥・キャラクターのマークであり、マンホールの中にそれぞれの絵が入っていることを表しており、クロユリ・白樺・ひばり・馬のリッキーの絵が入っています。  
十勝管内では帯広・音更・足寄・陸別でマンホールカードを配布しています。
- 会長 他に無ければ、本日の議事を終了します。
- 事務局 以上をもちまして、令和2年第1回審議会を閉会いたします。